

大河原商業高等学校

校是 文質彬彬 (ぶんしつひんぴん)



1 基本データ

創立：昭和17年
課程・学科：定時制課程・普通科
生徒数：8名
所在地：〒989-1201
柴田郡大河原町大谷字西原前154-6
TEL：0224-52-1064
FAX：0224-52-1568

ホームページアドレス：
<https://ogs-nhs.myswan.ed.jp>
電子メールアドレス：
ogs-nhs@od.myswan.ed.jp
主な交通機関：
JR東北本線 大河原駅下車徒歩10分
宮城交通 川崎・村田方面 大河原駅前バスプール下車
徒歩10分

2 学校の特徴

少人数教育！

定時制だからその魅力

少人数クラスでのきめ細やかな指導で、あなたの力を伸ばします。
「働きながら学ぶことで自信を持つ生徒を育成し、規律と礼儀を重んじ、責任ある行動のとれる人」を目指します。

(1) 学校の概要(沿革、環境、施設等)

本校の全日制課程は大正11年に大河原町立実科高等女学校として創立され、幾多の変遷を経て、昭和48年に現在の校名に改称されました。定時制課程は、昭和17年4月に宮城県大河原中学校として開校しました。現在、全日制課程は県内最大規模の商業高校ですが、定時制課程は普通科です。卒業生はすでに合計1,832名にのぼり、各界で活躍しています。

校章は大河原商業高等学校の頭文字「大」を図案化したもので、内容は、二つの半円が商業高校の英語訳 Commercial high School の頭文字で、同時に男女共学を意味し、互いに協力しながら向上躍進する姿を表しています。

(2) 教育方針

〈校是〉「文質彬彬 (ぶんしつひんぴん)」
「文」とは外面に表れた美しさであり、「質」とは内面の美質であり、それらが程良く調和し、共に備わっていることを意味する。つまり、品格のある態度・言動等を心掛けるとともに、知性・教養等が豊かで、それらのバランスが取れた人間を目指すこと。

〈教育目標〉

「生徒一人ひとりが心豊かで、薫り高い芸術文化の創造者になるとともに、社会に貢献できる人間を目指す」であり、その具体的な目標としては、次の5点である。

〈具体的な目標〉

- 1 教養・人格・心身のバランスが取れた人間
- 2 生命の尊重
- 3 責任と規律の重視
- 4 勤労意欲の向上
- 5 基礎基本の習得

〈重点目標と具体的指針〉

- (1) 「令和の日本型学校教育」の推進
 - (2) 閉校に向けて残された2年間で、生徒自身が意義と喜びを十分に実感し、この歴史と伝統ある大河原商業高等学校の最後の卒業生として、誇りを持って社会に出られるように、全力で支援する。
- ① 確かな学力の保障と発展
(Google Workspace for Education)
(ア) 普通教科の基礎基本及び商業に関する専門知識の習得
(イ) ICTの有効活用による「わかる授業」と知識の用途の明示
(ウ) 主体的・対話的で深い学びに結びつく学習指導
- ② 言語活動の充実
(ア) コミュニケーション能力の育成
(イ) 主体的に発言する態度と相手に意思を伝えられる能力を養う
- ③ 自主性のある生徒の育成
(ア) リーダーシップの育成
(イ) 積極的に参加する意欲の育成
- ④ 部活動の充実
(ア) 生徒と寄り添う姿勢と信頼関係
- ⑤ 進路指導の発展を見据えた指導
(ア) ICTを活用した基礎基本の習得
(イ) 早い段階での進路目標の設定
- ⑥ 防災教育と健康・安全指導の充実
(ア) 安心安全の環境作り
(イ) 緊急時の対応と外部機関との連携
- ⑦ 心のケアの充実
(ア) 生徒に寄り添う教育相談と関係機関等との連携の充実
(イ) 必要な情報の共有とプライバシーの保護
(ウ) 孤立させない環境作り (心と体の居場所作り)
- ⑧ 開かれた学校づくり
(ア) ボランティア活動の充実
(イ) 対外的な行事の参加
(ウ) 地域への広報活動

(3) 教育課程の特色

カリキュラムは普通科としての科目が中心ですが、商業科目も各学年で学びます。ホームルームを除いて各学年で19単位ずつ履修し、必要な単位数を修得すると卒業できます。夜間定時制という特性から、夕方5時30分から4時間授業です。授業で学んだことをさらに深めて、検定試験を受験する生徒もいます。

(4) 行事・生徒会活動・部活動

主な学校行事は以下のとおりです。

- (4月) 全校集会、部活動登録
- (5月) 修学旅行、I期中間考査、生徒総会
- (6月) 仙南定通体育大会、県定通体育大会 授業公開①、避難訓練①
- (7月) I期期末考査、生徒会行事
- (9月) 生徒の集い
- (10月) II期中間考査、全校制作、遠足、生活体験発表会
- (11月) 授業公開②、避難訓練②、閉校記念式典、II期期末考査
- (12月) 大商祭 (閉校記念事業)
- (2月) 学年末考査、分散会、同窓会入会式
- (3月) 卒業式・閉校式

本校では、生徒会役員を中心にそれぞれの生徒が日頃の仕事や社会での経験を生かし、先輩・後輩が一緒になって様々な行事に取り組みます。生徒会行事や遠足、分散会など楽しい行事が行われています。

部活動の運動部にはバドミントン部があり、毎年6月に行われる仙南大会や県大会に向けて活動しています。その他、文化部では読書、コンピュータ、イラストなど自分の興味関心を生かす活動をしています。

(5) 卒業生の進路状況

進路一覧(過去3年間、進学者・就職者数)

進路	R5	R4	R3
大学	0	0	0
短期大学	0	0	0
専各学校	2	1	1
就職(県内)	4	9	8
就職(県外)	0	0	0
その他	5	3	6
卒業生計	11	13	15

主な進路先(令和6年3月卒業生)、
()内は人数 (1)は省略。

〈専修各種学校〉

仙台医療秘書福祉専門学校
仙台幼児保育専門学校

〈就職〉

SWCC(株) 仙台事業所、日立Astemo(株)、東海高熱工業(株) 仙台工場、(株) ドラッグストアモリ

3 学校魅力発信

(1) 本校生徒の活躍

定体連大会（仙南大会・宮城県大会）

柔道部・卓球部 全国大会出場！

6月に高等学校体育連盟定時制通信制体育大会が開催されました。参加した各部の選手の皆さんは、堂々と日頃の練習の成果を発揮しベストを尽くしてきました。

柔道部は団体戦及び個人戦で見事に優勝を果たし、本校生4名が8月に講道館（東京都）で行われる全国大会に出場しました。全国大会では個人・団体ともベスト8の成績を残しました。

バドミントン部は仙南大会で個人準優勝とベスト8、県大会では惜しくも1回戦敗退となりました。

卓球部は個人戦で仙南大会優勝、県大会で第3位となり、全国大会にも出場しました。



柔道部 齋藤北斗さん（角田中出身）

8月5日と6日に柔道の全国大会に行ってきました。

団体戦は1回戦で東京チームに勝ち、2回戦で神奈川チームと当たって、負けてしまいました。

神奈川チームは去年の優勝チームで、陸上自衛隊で通信制の高校に行っていて、体力がある人たちでした。

個人戦は、1回戦は熊本代表の選手と戦って勝ちました。2回戦は、静岡代表と戦って勝ちました。どちらも一本勝ちでした。3回戦で、東京の選手と戦って負けましたが、結果はベスト8でした。この選手が優勝しました。

試合の他に印象に残っているのは、東京タワーに行ったことです。初めて東京タワーに登りました。

私は小学3年生から10年間柔道をしてきましたが、友達は柔道を始めて期間が短いのに、すごく成長して強くなりました。私にとって最後の試合だったので、ベスト8という悔いのない結果でよかったです。

(2) 主な学校行事

修学旅行（京都・大阪2泊3日）

初日は、仙台空港から飛行機で伊丹空港へ。その後、京都に移動し、金閣寺と清水寺を拝観しました。第2日は、京都市内を中心に班ごとの自主研修です。伏見稲荷、二条城や水族館など、各班で計画していたコースを回りました。慣れない土地で迷ったりしましたが、最後は全員無事にホテルに戻ることができて、よい表情で充実した研修になったようです。最終日は、大阪に移動してUSJ（ユニバーサルスタジオジャパン）で楽しみました。



生徒会行事①「ボウリング大会」

令和5年度もボウリング大会を行いました。生徒14名、教員6名が参加し、大いに盛り上がりました。競技の結果、男子は4年生、女子は3年生が見事優勝し、生徒会長から賞状が授与されました。



生徒会行事②「カードゲーム、テレビゲーム」

第2回生徒会行事は新執行部を中心に企画を練り上げて準備しました。当日は、各自がカードゲーム、テレビゲームのうちから一つを選択して取り組み、その後にピンゴ大会を全員参加で行いました。第二体育館で開会式を終えた後、カードゲームを選んだ生徒は「ito」という、数字に合わせて自分がイメージするものを話し合うというゲームをしました。参加者それぞれの価値観が出て、大変盛り上がりました。テレビゲームを選んだ生徒は大乱闘スマッシュブラザーズで対戦し、こちらも歓声が上がっていました。



全校制作“壁画”見事に完成



大商祭の定時制作品として羊毛フェルトによる壁画作成を行いました。今年度は定時制の職員室から見た蔵王連峰の景色をデザインし、下書きを書いた土台を4分割して学年など各担当を決めて取り組みました。さまざまな色に染色した羊毛を、一本一本針を使って貼りつけていくという

細かい作業でしたが、卒業生の応援などもあり、大商祭前日の夕方には完成し、展示することができました。今後1年間にわたり、昇降口に展示いたします。

(3) 学校制服紹介

服装は自由を原則としています。運動着も特に指定しておりません。上履き（サンダル）、体育館シューズは購入していただきます。

4 在校生からのメッセージ

生徒会長 村上直樹さん（村田第一中出身）

本校は夜間定時制で、大会や学校行事を除いてほとんどの授業が夕方から始まります。普通科ながら簿記や情報処理などの商業科目を学ぶこともでき、検定試験を受け、将来の進路につなげることもできます。普段の学校生活や行事では、先生方は私たち生徒の意見を尊重してくれて、柔軟に受け入れてくれます。例えば、昨年度の生徒会行事では、夏はボウリング、冬はみんなでボードゲームやテレビゲームなどでワイワイ楽しみました。

全日制とは違い、学校が始まる前に時間があるため、その時間をアルバイトにあてて社会経験を積むこともできれば、勉強の時間にあてて検定を目指すこともできます。それにより、学校生活だけでは培えない経験を積めることが本校の強みだと思います。

一クラスはかなり少数で、大勢の人が苦手な人にも通いやすいのではないかと思います。私も人間関係のしがらみやたくさんの人と関わるのが苦手なので、非常に穏やかに過ごせています。早いうちから働いてみたいという人や学校以外の時間が多くほしいというような人にはお勧めできるのではないかと思います。・・・とはいっても私の代で本校は閉校になってしまうのですが。